

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立図書館（みなと、麻布、赤坂）						
指定管理者	ナカバヤシ株式会社						
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	図書文化財課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	10	0	80	48	32		90	
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考		
正規・非正規職員の退職者数	26	6						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考
入館者数（人）	720,884	636,534				
資料貸出数（点）	800,514	790,737				
行事開催数（回）	213	380				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考
経費実績	収入	436,159,854	449,813,230	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	436,159,854	449,813,230				
	利用料金収入	0	0				
	その他収入	0	0				
	支出	443,271,516	446,651,147	0	0	0	
	職員人件費	229,756,505	233,735,369				
	光熱水費	33,981,400	29,935,272				
	修繕費	9,799,460	9,817,390				
	事業運営費	10,500,382	12,227,120				
	施設管理経費	66,026,133	67,297,499				
その他経費	93,207,636	93,638,497					
差引収支額	-7,111,662	3,162,083	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	446,289,173	458,877,517					

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5 25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	1 / 5	×3 3 / 15
区による評価合計点				88 / 100	

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	指定管理者として運営2年目となり、新たな地域の施設・団体と連携した新規事業を積極的に行い、3館の講座等の参加人数合計は前年度比119%となりました。また、人員配置の改善点を踏まえ、業務効率化による職員の安定した体制づくりに徹底的に取り組み、業務改善を図りました。みなと図書館での科学館連携やビブリオバトルの参加促進、麻布図書館での近隣学校連携展示や特色である映画・演劇に関する講座、赤坂図書館での地元企業による各種講座や大使館とのスタンプラリー等、各館の特色を活かした事業を展開しました。今後はこれらの連携を発展させ、より一層「地域に根差した図書館」を実現します。
区（施設所管課）による評価	各館において、地域特性を踏まえた講座や展示、関係機関との連携事業を実施しており、講座等参加者数が前年度を上回るなど、利用促進に向けた取組は適切に行われました。人件費についても、安定的な運営体制の確保に向けた取組が進められ、改善がみられました。一方で、新規登録者や貸出利用の増加、利用定着につなげるための改善が必要です。財政援助団体監査を踏まえ、再委託先の変更について事前協議の徹底を指導しました。労働環境モニタリングで指摘を受けた労災保険の業種区分について、引き続き改善に取り組んでください。施設管理においては、計画的な点検や適切な修繕を実施し、安全・安心な施設運営が行われています。事業運営においては、各館の特色を生かした取組を継続しつつ、安定的な運営体制を確保するとともに、より効果的な図書館サービスの提供につなげる必要があります。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）